

第6回 食と農の未来フォーラム

「パレスチナの家族の今」 ゲスト：高橋美香さん



写真は左から『パレスチナに生きるふたりーママとマハ』（2023. 1、かもがわ出版）、『それでもパレスチナに木を植える』（2016. 11、未来社）、高橋美香さんのFBページより。

食と農の距離を縮めることを目的に開催している本フォーラム、今回はパレスチナがテーマです。

ガザ及びヨルダン川西岸からなるパレスチナでは、イスラエルによるガザ地区の封鎖等により命の糧である食料が不足し、子どもたちを含めて多くの人たちが飢餓にさらされていると報道されています。

飽食・日本に暮らす私たちにとってパレスチナは遠くにあるように感じられますが、現在の本当の状況はどうなっているのか、高橋美香さんが何度も「居候」して取材された「家族」の皆さまが、今、どのような日々を過ごされているのか等について、お話を頂きます。

本場のパレスチナ料理を頂きつつ、参加者全員で質疑応答や意見交換を行うことで、パレスチナの現状について参加者一人ひとりが想像し、自分たちに何ができるかを考えることができる会になればと思います。

日時：11月25日（火）19:00～21:00

19:00～20:00 高橋美香さんのお話

20:00～21:00 お料理を頂きながら質疑応答、意見交換

（参加者の皆様からは簡単な自己紹介をお願いします。）



場所：パレスチナ料理店 Bisan（ビサン、東京・十条、<https://bisan.biz/>）

オーナーシェフ Mansour Sudki さん

ゲスト：高橋美香さん

写真家。広島県府中市生まれ。世界の国々を歩き、その地に生きる人びとの「いとなみ」をテーマに撮影、作品を発表。

著作に『パレスチナのちいさいいとなみー働いている、生きている』（パレスチナ・オリーブ代表・皆川万葉さんとの共著、かもがわ出版）、『パレスチナ・そこにある日常』『それでもパレスチナに木を植える』（以上、未来社）、『パレスチナに生きるふたりーママとマハ』（第29回平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞受賞・かもがわ出版）など。

今月末に新刊『シロくんとパレスチナの猫』（かもがわ出版）刊行予定。

【参考】食と農の未来フォーラムについて https://food-mileage.jp/2025/10/30/251030_forum/

現在、食と農は様々な深刻な課題に直面していますが、これらの多くは「食（食卓、消費者、都市）と農（産地、生産者、農村）の間の距離」が離れてしまっていることに起因。

本フォーラムは、都市の一般市民（消費者）の方々を主な対象として、食と農の現場の実情と課題を身近に感じ、理解し、ひいては自主的な行動変容につなげて頂くことを期待して中田個人が開催しているもの。



【第1回】2025年6月30日（月）開催趣旨等について中田から説明と問題提起、意見交換。

【第2回】7月23日（水）大友 治さん「米は田んぼだけで作られるのではない 稲作が生産するのは米だけではない」

【第3回】8月26日（火）鈴木純子さん「原発被災地でオーガニックコットンを育て「続け」ること」

【第4回】9月20日（土）榊田みどりさん「都市住民こそ他人事じゃない！ 私たちの食べものは大丈夫？」

【第5回】10月27日（月）佐久間 建さん、藤崎美智子さん

「ハンセン病問題を基礎から学び、紙芝居『わたしの命の物語』から生きやすい社会について考える」

【第6回】11月25日（月）高橋美香さん「パレスチナの家族の今」（仮題）

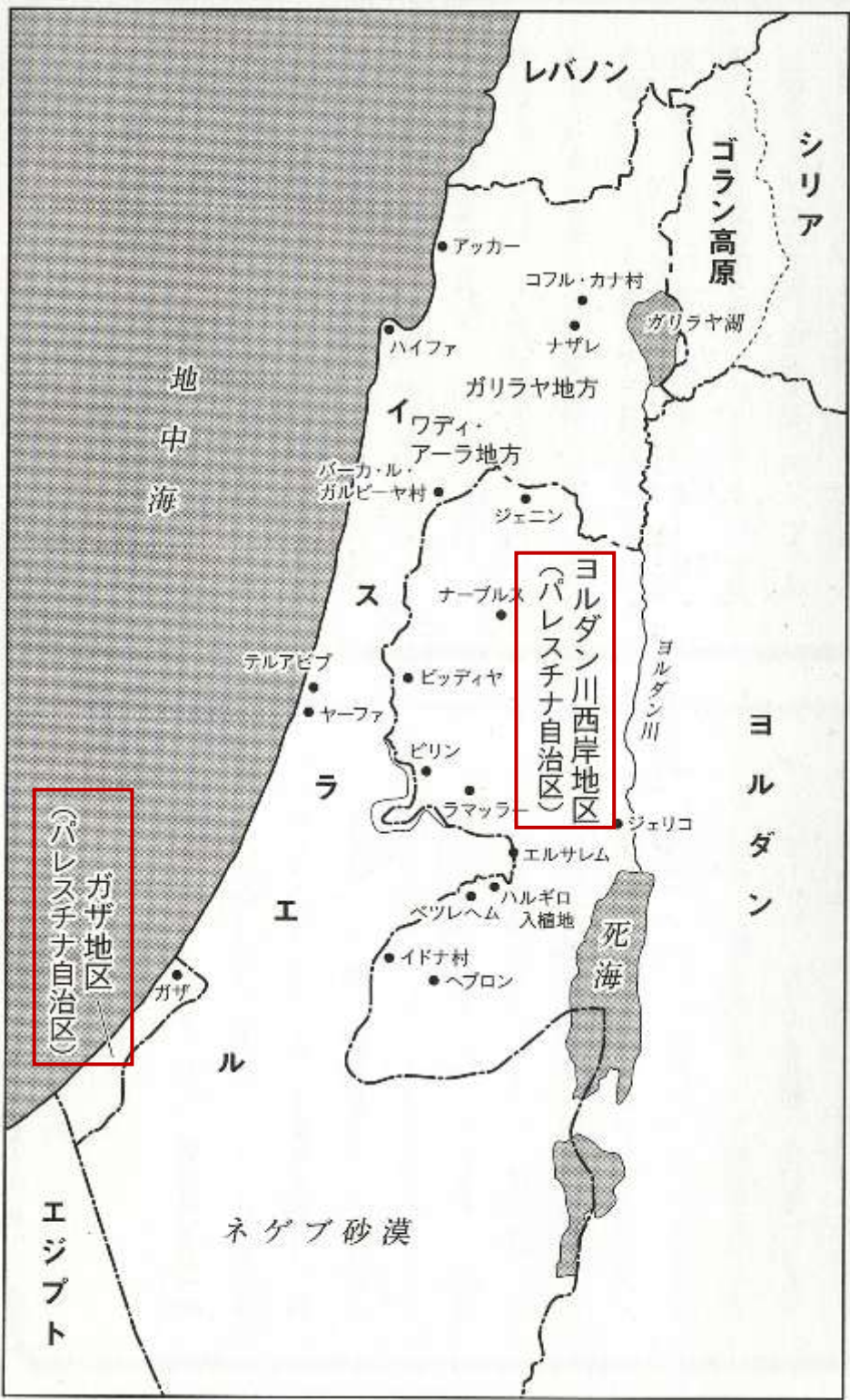
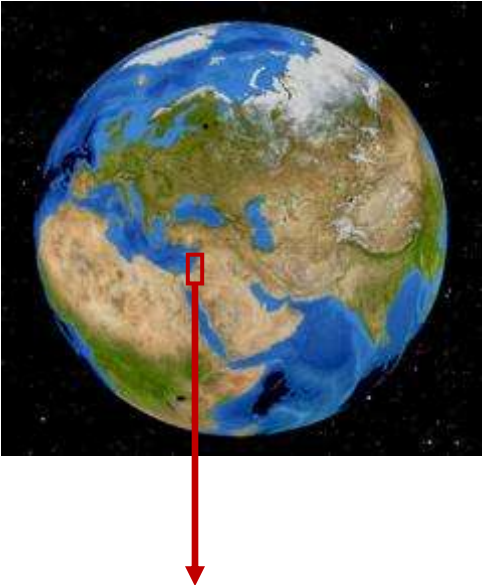
【第7回】12月中下旬に開催予定

主催者：中田哲也（ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」主宰 <https://food-mileage.jp/>）

パレスチナ関係 略年表 (各種資料を基に中田作成)

- 1882年 ロシア・東欧のユダヤ人のパレスチナへの移民開始
- 1897 第1回シオニスト会議 (バーゼル綱領)
- 1916 サイクス・ピコ条約 (イギリス、フランスによる中東分割)
- 1917 バルフォア宣言 (イギリスがシオニスト運動を支持)
- 20〜 イギリスによるパレスチナ委任統治
- 39〜 第2次世界大戦 ナチスによるホロコースト
- 47 国連総会でパレスチナ分割を採択
- 48 ナクバ (大破局、大量の難民発生)
- イスラエル建国宣言、第1次中東戦争
- 56 第2次中東戦争 (スエズ動乱)
- 64 PLO (パレスチナ解放機構) 設立
- 67 第3次中東戦争 (6日戦争。イスラエルの軍事大国化)
- 73 第4次中東戦争 (シナイ半島をエジプトに返還)
- 87 第1次インティファダ (パレスチナ民衆蜂起。石の革命)
- 88 パレスチナ国家独立宣言
- 91 ソ連解体、湾岸戦争
- 93 オスロ合意
- (翌年、アラファトPLO議長、ラビン イスラエル首相らがノーベル平和賞を受賞)
- 95 イスラエルが占領地を3区分
- : A (自治区)、B (行政権だけの半自治区)、C (完全占領地)
- ラビン首相暗殺。翌年、ネタニヤフ首相就任 (第1次)
- 99 キャンプ・デービッド首脳会談 (クリントン、バラク、アラファト)
- 2000年 第2次インティファダ
- 01 ガザ封鎖始まる (「天井なき監獄」)
- 02 「分離壁」の建設開始。(国際司法裁判所(ICJ)は国際法違法と判断)
- 06 立法評議会選挙でハマスが勝利
- 07 パレスチナ自治政府の分裂 (西岸地区とガザ地区の二重政権に)
- 12 国連にオブザーバー国家としての加盟申請
- 20 アブラハム合意 (アメリカ・トランプ大統領の仲介)
- 22 第6次ネタニヤフ内閣
23. 10/ 7 ハマスがイスラエルを越境奇襲攻撃
- イスラエルによるガザ地区への大規模攻撃が始まる (人道危機に)
25. 8/20 イスラエルがヨルダン川西岸における大規模な入植地建設計画を最終承認
- 10/10 トランプ大統領提案に基づきガザでの停戦が発効
- 現在 再び衝突が拡大、23年10以降の死者は6万9700人 (うち停戦発効後に300人以上)

パレスチナ関係 略図
(三大陸の結節点、聖地)



地図の出典：高橋美香、皆川万葉
『パレスチナのちいさいとなみ』
(2019. 6、かもがわ出版)p. 6